

令和3年度
こころ医療福祉専門学校壱岐校
学校自己評価結果報告書

令和4年4月1日

文部科学省・専修学校における学校評価ガイドライン
(平成25年) 準拠

1. 学校の教育目標 令和3年度

○ビジョン

地域の医療・福祉を包括的に支援できる組織になる

○ビジョンの実現に向けたテーマ

地域社会から必要とされる組織であり続ける

地域社会から必要とされる人材を提供する

1 学校経営スローガン「傍らに人あり」の精神を大切にする心豊かな介護人材の育成

2 重点教育目標

(1)教員の研鑽に基づいた授業内容の充実に努める

(2)介護福祉士国家試験合格率及び進路実現100%(日本人)の達成

(3)効果的な学生募集に努める(日本人学生6、留学生10)

(4)留学生の安全・安心を100%担保できるように努める

(5)凡時徹底に努め、組織として動く

3 具体的な対策

(1)教員間の授業参観及び・関連施設との連携強化

(2)充実した国家試験対策、進路実現に向けた個別面談、就職合同面談会の実施

(3)ガイダンス・オープンキャンパス・広報の充実

(4)留学生担当、担任による面談の実施

(5)職員間の報告、連絡相談体制の推進

4 地域社会との関係

(1)地域の公民館との連携

(2)ボランティア活動への積極的参加を図る

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

(1)介護福祉士国家試験合格率向上に努める

(2)進路実現100%の達成

(3)授業の質と量の向上を図る

(4)留学生の安全・安心100%の達成

(5)ガイダンス・オープンキャンパス・広報の充実

(6)徹底したコロナウイルス感染防止対策

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切:4, ほぼ適切:3, やや不適切:2, 不適切:1				
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか。 (専門分野の特性が明確になっているか)	4	3	2	1	グループの教育理念を念頭に置き、本校の理念についても学生便覧に明確に示している。専門分野における「知識理解」「技能」だけでなく、介護職に携わるための「介護観」や「倫理観」といった心の教育を大切にしながら、社会に貢献するための行動力や人格を育て、社会に出すように努めている。 【教職員アンケート 質問1 3.25】
・学校における職業教育の特色は何か。	4	3	2	1	市内の関連施設との連携を密にし、「傍らに人あり」の精神のもとに、知力と実践力の両方を兼ね備え、心の通った介護を施せる人材の育成に重点を置いている。 【教職員アンケート 質問2 2.50】
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか。	4	3	2	1	市内の関連施設や学校関係者評価委員会等の意見を十分に聞き取り、職員のカリキュラムマネジメントを高め、教育課程を編成することで、社会や地域のニーズに答えられる人材の育成日止めている。 【教職員アンケート 質問3 2.75】
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか。	4	3	2	1	将来、香岐の介護をリードしていくための、理念や目的、自己の将来像を、学生・保護者と学校とが共有し、3者のニーズに合った教育活動を展開する。本校の存在価値についてオープンキャンパス・入学前ガイダンス等で、幅広い人への啓蒙を行っている。 【教職員アンケート 質問4 2.75】 【学生アンケート 質問1 3.38】 平均:3.07
・各学科の教育目標, 育成人材像は, 学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか。	4	3	2	1	関連事業の情報収集を行い、将来的なニーズに対する理解を深めている。また、それに応じた目標や人材像を設定し、目標に沿った教育活動の展開に努めている。 【教職員アンケート 質問5 3.00】

①課題

社会状況の変遷が進み、それに伴った社会的なニーズも日々変化している。そのような中で、時代を読む目をしっかりと持って、卒業生を送り出す関連業界のニーズを、的確に捉えたカリキュラムやシラバスをマネジメントする能力と教育体制を構築する必要がある。

②今後の改善方策

日々変化する社会状況に応じた教育活動が行われるように、PDCAサイクルのもとに定期的な検証を行い、改善・実践を行う。

③特記事項

・なし

3. 評価項目の達成及び取組状況

(2) 学校運営

評価項目	適切:4, ほぼ適切:3, やや不適切:2, 不適切:1		
・目的等に沿った運営方針が策定されているか。	4 (3) 2 1		岩永学園グループの目的である地域の医療・福祉を包括的に支援できる教育機関を目指すということを念頭に置き、地域の福祉施設との連携を図りながら、より実践的な運営方針を策定している。 【教職員アンケート 質問6 2.75】
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか。	4 (3) 2 1		地域性を考えながら、学校目標を達成するための運営方針に沿って、前年度の反省を生かしながら年度当初に具体的な事業計画を示している。 【教職員アンケート 質問7 3.00】
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか。	4 (3) 2 1		運営組織や意思決定機能がさらに有効に機能するように、職員間の情報の共有を図り組織として実践を行いたい。 【教職員アンケート 質問8 2.50】
・人事、給与に関する規定等は整備されているか。	4 (3) 2 1		就業規定により明確に示している。 【教職員アンケート 質問9 2.50】
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか。	4 (3) 2 1		本部との連携を密に取りながら、総務部で適切に運営している。 【教職員アンケート 質問10 2.25】
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか。	4 (3) 2 1		地域自治会への参加や学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会等の取組によって、体制が整備されている。 【教職員アンケート 質問11 2.75】
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。	4 (3) 2 1		学校ホームページや募集活動等において積極的に情報を開示している。 【教職員アンケート 質問12 3.00】
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	4 (3) 2 1		業務効率化を図るために、校内の情報システムの整備を随時行っている。 【教職員アンケート 質問13 2.50】

①課題

自己の目標を達成させるために必要な情報を、学生自身得られやすいように開示を行うためには、どのような方法が最も有効なのかを検証する必要がある。

②今後の改善方策

学生がどのような情報を得たいのかを常に把握できるように、定期的な面談やアンケート等を行い、情報収集に努め、新しい情報を発信していく。

③特記事項

あらゆる方面からの情報を収集する。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(3) 教育活動

評価項目	適切:4, ほぼ適切:3, やや不適切:2, 不適切:1				
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか。	4	3	2	1	学校関係者評価委員会・教育課程編成委員会や関連業界との連携し、実践的な職業教育を意識した策定に努めている。 【教職員アンケート 質問14 3.25】
・教育理念、育人人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。	4	3	2	1	目標とする到達レベルを明確にした上で、養成施設指定規則に基づき、就業年限や時数を設定している。 【教職員アンケート 質問15 3.00】
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか。	4	3	2	1	養成施設指定規則に基づき、適切に編成している。 【教職員アンケート 質問16 3.25】
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。	4	3	2	1	関連業界や教育課程編成委員会の意見を参考にし、実践的かつ効果的な工夫を行っている。コロナ禍にありながら、多くの施設が快く実習を受け入れていただいたことに感謝している。 【教職員アンケート 質問17 3.25】
・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか。	4	3	2	1	実習先と教職員の緊密な連携のもとに、現場で真に求められている技能の習得に力を入れ実践的な職業教育を校内の実習で行い、施設実習に繋げている。 【教職員アンケート 質問18 3.25】
・授業評価の実施・評価体制はあるか。	4	3	2	1	各教科で全生徒に授業評価アンケートを実施し、職員自身の指導の振り返りと授業改善に役立てている。 【教職員アンケート 質問19 3.00】
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか。	4	3	2	1	学校関係者評価委員会を年に1回、教育課程編成委員会を年2回開催し、情報交換や客観的な評価を受けている。 【教職員アンケート 質問20 3.00】
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか。	4	3	2	1	成績評価、単位認定、進級及び卒業判定は適切に実施・管理されている。 【教職員アンケート 質問21 3.25】
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。	4	3	2	1	規程に基づき、適切に位置づけられている。 【教職員アンケート 質問22 2.75】
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか。	4	3	2	1	国家資格の養成施設指定規則に則り、資格要件を満たした実践力のある教員を確保している。 【教職員アンケート 質問23 2.25】
・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか。	4	3	2	1	自己の実務経験を生かすとともに、常に新しい知識と技術の維持のために業界との連携を密に取りながら自己研鑽努めている。また、実習施設の指導担当者と教育方針を統一し、知識の共有を図ることで更なる資質向上に努めている。 【教職員アンケート 質問24 2.50】
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか。	4	3	2	1	自主的な教材研究を勧奨するとともに、教員全体の資質向上や指導力の向上を目指して年数回の研修を行っている。 【教職員アンケート 質問25 2.75】
・職員の能力開発のための研修等が行われているか。	4	3	2	1	学内において全般的な研修は行い、指導向上に努めている。ここ数年はコロナの影響により、島外の対面による研修に参加できていない。 【教職員アンケート 質問26 2.75】

①課題

国家試験に向けた学生の動機付けが奏功しつつあるが、学生の能力や意欲に差があるために、個人の能力にあった学習法を見出させ、実践させる必要がある。、リモート授業において先生方の熱意は十分に伝わるものの、声の大きさや進度、提示される資料や意思の疎通が十分できないという意見がある。

②今後の改善方策

自己にあった国家試験合格に向けた学習法を見出させ、併せて教師の授業力の向上を図るとともに充実した、リモート学習が行えるような工夫を行うなど、教育の質と量の改善・向上に努める。

③特記事項

職員自身が結果を分析し、次年度に向けた学習や指導法の改善を図る。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(4) 学修成果

評価項目	適切:4, ほぼ適切:3, やや不適切:2, 不適切:1				
・就職率の向上が図られているか。	4	3	2	1	市内の各施設と連携した学校主催での合同就職面談会を実施し、積極的に就職活動を支援している。 【教職員アンケート 質問2.75】 【学生アンケート 質問2 3.56】 平均3.16
・資格取得率の向上が図られているか。	4	3	2	1	模擬試験を定期的に行い、自己の力を客観視することで、段階的効果的な学習に行えるように支援している。 【教職員アンケート 質問28 3.00】 【学生アンケート 質問3 3.74】 平均:3.37
・退学率の低減が図られているか。	4	3	2	1	学生や保護者からの相談にはいつでも対応できるようにし、定期的な学生との面談等により、学習意欲の向上を図っている。 【教職員アンケート 質問29 2.50】 【学生アンケート 質問4 3.29】 平均:2.90
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか。	4	3	2	1	過年度卒業生の同行をできるだけ把握できるようにし、その活躍についても学生たちに発信できるようにしている。 【教職員アンケート 質問30 2.50】 【学生アンケート 質問5 3.35】 平均:2.93
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4	3	2	1	卒業生についての情報を本人や勤務先からできるだけ収集し、教育活動の改善や在校生の就職意欲を高められるように努めている。 【教職員アンケート 質問31 2.50】 【学生アンケート 質問6 3.38】 平均2.94

①課題

留学生学習効果を上げるためには日本語力を向上させることが早急の課題である。日本語科の教師の協力を得て行っているリモートでの指導が徐々に効果を発揮しつつある。国家試験合格に向けては、学生の合格への意識を高め、教員の教材の研究・授業方法の検討を重ねる必要がある。今年度の結果をしっかりと分析し、問題点を明確にして具体的な方策をしっかりと立てる必要がある。

②今後の改善方策

指導の内容、指導方法など、互いに研鑽を積み、共有を図るとともに、質と量の向上を図る。また、留学生に対する日本語の学習を充実させ、授業に対する理解度や実践的な技術の修得を積極的に支援するとともに、自身の介護観や倫理観についての指導を十分に行い、職場に送り込む。指導方法については工夫する必要がある。自分の到達度が客観的に意識できるような指導法の確立が必要である。

③特記事項

なし

3. 評価項目の達成及び取組状況

(5) 学生支援

評価項目	適切: 4, ほぼ適切: 3, やや不適切: 2, 不適切: 1				
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか。	4	3	2	1	合同就職面談会の実施や留学生に対する卒業後の就職先との面談等を企画し、安心して職につけるように支援している。卒業して就職先まで安心して移動できる支援も行っている。 【教職員アンケート 質問32 2.75】 【学生アンケート 質問7 3.68】 平均:3.22
・学生相談に関する体制は整備されているか。	4	3	2	1	学科長を中心に担任を通じて年間2回は学生との面談を行い、学生の悩みや就職についての相談機能を果たせるように努めている。日頃から学生に目を配り、全員が担任という意識で学生の指導に当たり、情報も供している。 【教職員アンケート 質問33 2.50】 【学生アンケート 質問8 3.59】 平均:3.05
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。	4	3	2	1	学校独自の減免制度や各種奨学金申請等に際する情報について、できるだけ詳しく学生に説明し、経済状況に応じた学費納入の相談にも応じている。 【教職員アンケート 質問34 3.25】 【学生アンケート 質問9 3.44】 平均:3.05
・学生の健康管理を担う体制はあるか。	4	3	2	1	定期的な健康診断学校上げての衛生管理等、学生の健康管理には細心の注意を払っている。コロナウイルス感染予防についても徹底した校内の消毒や予防対策を行っている。病院の受診についても職員が付き添い、安心して治療ができるように支援している。 【教職員アンケート 質問35 2.75】 【学生アンケート 質問10 3.74】 平均:3.25
・課外活動に対する支援体制は整備されているか。	4	3	2	1	この1年間は、新型コロナウイルス感染流行の関係で、課外活動に対する十分な支援を行うことができなかった。コロナ感染症が落ち着いたら、必要な支援を行いたい。
・学生の生活環境への支援は行われているか。	4	3	2	1	校内に学生寮を有し、留学生や海外からの学生の修学を支援している。普段の生活の中で、日本の文化や習慣についても指導を行っている学生が日常生活で困らないように環境整備や買い物・アルバイトへの送迎等も行っている。 【教職員アンケート 質問37 2.50】 【学生アンケート 質問12 3.53】 平均:3.02
・保護者と適切に連携しているか。	4	3	2	1	保護者への対応については全職員が丁寧に対応できる体制を整えている。また、情報も共有し、担当者に繋げている。 【教職員アンケート 質問38 2.50】 【学生アンケート 質問13 3.53】 平均:3.02
・卒業生への支援体制はあるか。	4	3	2	1	卒業生が安心して次のステップに進めるように、資格登録や試験の申し込み、在留資格申請等の各種手続きについてしっかり支援できる体制を整えている。 【教職員アンケート 質問39 2.25】 【学生アンケート 質問14 3.74】 平均:3.00
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。	4	3	2	1	始業時間を工夫することで、留学生が朝と夕のアルバイト活動を可能にしている。雇用先から研修の目的で入学してくる学生に対して、自覚と責任をしっかりとって研修できるように、さらに連携を深めたい。 【教職員アンケート 質問40 2.25】 【学生アンケート 質問15 3.50】 平均:2.88
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか。	4	3	2	1	高校でのガイダンス授業に積極的に参加し、職務理解を目的とした体験授業に力を入れている。 【教職員アンケート 質問41 2.50】

①課題

コロナウイルス感染によってあらゆる制限を受けながらの活動が多いが、徹底した衛生管理や予防対策を行うことで、実習等を行うことができた。職種として最も衛生管理を徹底して仕事に携わらなければならないという意識を、さらに高められるように指導を行いたい。金銭的支援については生徒一人一人が十分理解できるように説明する。

②今後の改善方策

学生が受動的にコロナウイルス感染症予防対策をはじめとする衛生管理を行うのではなく、能動的に衛生管理が行えるように意識を高める指導が必要である。

③特記事項

学生への経済的支援については、県・市・連携施設との相互連携により十分な体制を構築している。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(6) 教育環境

評価項目	適切:4, ほぼ適切:3, やや不適切:2, 不適切:1				
・施設・設備は, 教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。	④	3	2	1	施設基準は満たされており, 必要なスペース備品等についても整備されている。必要に応じて備品の補充施設整備も行っている。 【教職員アンケート 質問42 2.75】 【学生アンケート 質問16 3.68】 平均:3.22
・学内外の実習施設, インターンシップ, 海外研修等について十分な教育体制を整備しているか。	④	3	2	1	コロナウイルス感染症予防のために, 時間の変更等は行ったが, 1, 2年制ともに計画していた施設での実習を行うことができた。 【教職員アンケート 質問43 3.25】 【学生アンケート 質問17 3.56】 平均:3.41
・防災に対する体制は整備されているか。	④	3	2	1	市内の消防署・警察署の協力を得て, 避難訓練防災教育を計画的に実施している。1年生の授業ではAEDを使用した蘇生法の学習も行っている。 【教職員アンケート 質問44 2.75】 【学生アンケート 質問18 3.71】 平均:3.23

①課題

授業が行われているときの避難訓練は実施できているが、学校の一部が寮となっているため、寮としての避難訓練を行う必要がある。

②今後の改善方策

年度当初の避難訓練だけでなく、定期的に防災に関する情報提供・教育を行う。次年度は寮生を対象とした避難訓練を考えている。
実習施設には情報交換を密にするとともに、関連業界と連携を取り、実習指導を充実させる。

③特記事項

防災訓練(地震・津波避難訓練含む)および、年2回の消防点検を実施することにより、防災意識の昂揚に努めている。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(7) 学生の受入れ募集

評価項目	適切:4, ほぼ適切:3, やや不適切:2, 不適切:1				
・学生募集活動は、適正に行われているか。	4	3	2	1	学生募集は適切に行われているが、日本の学生を確保するための工夫が必要である。 【教職員アンケート 質問45 3.50】
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。	4	3	2	1	募集活動において学生の就職率、資格試験の合格率実習の成果等を正確に伝えてはいるが、入学生の確保に繋げるためには、保護者や吉岐市にUターンを考えている者への啓蒙活動がもっと必要である。 【教職員アンケート 質問46 2.75】
・学納金は妥当なものとなっているか。	4	3	2	1	同分野の他の学校の平均水準と同等である。 【教職員アンケート 質問47 3.00】 【学生アンケート 質問19 3.62】 平均:3.31

①課題

マンネリ化した広報活動に頼っていてもなかなか学生は集まらない。定期的な市内の高等学校での進学ガイダンスに出席するとともに、今後は社会人・中学生・保護者に対して本校の情報をいかに伝えるかの工夫が必要である。(今年度は市内中学校進路説明会に参加した。)

②今後の改善方策

高等学校等との連携を深め、在校生の成績状況や就職先情報などを積極的に発信するとともに、専門分野に興味を持っていない学生に対しては、興味を持つきっかけとなるような学校の魅力を簡潔に提示する。今年度はオープンスクールに加え夏休みを利用して体験授業を計画したいと考えている。また広報活動の対象者の幅を広げるために、回覧板・ケーブルテレビ等、地域生活に密着した媒体の有効な活用方法を検討する。中学生の進路説明会には今後も参加させてもらう。

③特記事項

学校関係者評価委員会の委員にも友好的な広報活動について意見を聞く。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(8) 財務

評価項目	適切:4, ほぼ適切:3, やや不適切:2, 不適切:1				
・中期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。	4	③	2	1	入学者数の確保が一番の課題であり、市内の高校生の人数が減少しているため、入学者確保のために新たな開拓が必要である。 【教職員アンケート 質問48 2.75】
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	4	③	2	1	予算、決算は理事会・評議員会の承認を得ており、適切に管理されている。 【教職員アンケート 質問49 2.50】
・財務について会計監査が適性に行われているか。	④	3	2	1	内部監査、監事監査等を行っており、会計監査・業務監査は適切に行われている。 【教職員アンケート 質問50 3.25】
・財務情報公開の体制整備はできているか。	④	3	2	1	ホームページ等でも公開している。 【教職員アンケート 質問51 3.00】

①課題

離島地域において少子高齢化は特に顕著である。このような状況の中、地元に残る高校生の大切な進路先になるように、長期的な成果を見込み、早い段階から対象者や保護者向けの広報活動を展開し、安定した入学生確保を目指したい。

②今後の改善方策

すべての入学希望者に対して各種学費支援制度の情報提供を行うことで修学に対する不安を軽減し、入学者の確保につなげる。(そのことを広報活動で多くの人に知ってもらう。)

③特記事項

なし

3. 評価項目の達成及び取組状況

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切:4, ほぼ適切:3, やや不適切:2, 不適切:1				
・法令, 専修学校設置基準等の遵守と適性な運営がなされているか。	4	3	2	1	学校運営に係る文書等は適切に処理・管理・保存されている。 【教職員アンケート 質問52 3.25】
・個人情報に関し, その保護のための対策がとられているか。	4	3	2	1	個人情報についてはセキュリティが十分であり、全職員で適切に管理している。 【教職員アンケート 質問53 2.75】
・自己評価の実施と問題点の改善を図っているか。	4	3	2	1	学生・職員の学校評価や自己評価をもとに校長としての自己評価を行うとともに、各部局、学科でそれぞれの検証・改善を行っている。 【教職員アンケート 質問54 2.50】
・自己評価結果を公開しているか。	4	3	2	1	ホームページで公開している。 【教職員アンケート 質問55 3.00】

①課題

自己評価の結果を次年度の学校運営に十分に活用できる組織体制を構築する。

②今後の改善方策

自己評価の結果を教職員間で共有するとともに、各職員が問題意識をもって具体的な対策や数値目標を掲げ、業務を行い、定期的にPDCAサイクルで自己評価を行わせ、改善を図る。
また、学生に対しても学校評価・授業評価アンケートのフィードバックとして改善点を周知し、学校運営に参加しているという意識を共有させ、自分自身の振り返りを定期的に行わせる。

③特記事項

年度当初のオリエンテーションや個別面談において本校の指導内容や指導方針を明確にし理解させるとともに、年間及び2年間の自己目標を明確にさせておく。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切:4, ほぼ適切:3, やや不適切:2, 不適切:1	
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	4 (3) 2 1	コロナ禍ではあるが、地域での清掃活動を行わせたり、地域での学校の役割について理解させている。地域の駐在所巡査にタガログ語教室を行うなど一部の活動を行うことができた。 【教職員アンケート 質問56 3.00】
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。	4 (3) 2 1	地域に限定した活動はできたが、学生が十分に活動できるようなボランティア活動を支援することは十分にできなかった。 【教職員アンケート 質問57 2.50】 【学生アンケート 質問20 3.41】 平均:2.96
・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか。	4 (3) 2 1	佐世保高等技術専門校からの委託訓練を受託し、教育を行っている。 【教職員アンケート 質問58 2.50】

①課題

このようなコロナ禍の中で、どのようなボランティア活動および地域貢献活動が有効であるのかを吟味し実践する。
短期的・長期的な地域貢献活動を見い出ることが必要である。

②今後の改善方策

衛生管理についての意識を高め、自発的に無理なく継続できる活動を援助することで、学生自身が主体的に地域に貢献できる環境づくりを進めていく。

③特記事項

介護職とボランティア精神は連動していることを意識させる。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(11) 国際交流

評価項目	適切:4, ほぼ適切:3, やや不適切:2, 不適切:1			
・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか。	4	③	2 1	グループ内で連携し、積極的に留学生の受け入れを行っている。 【教職員アンケート 質問59 2.25】
・留学生の受入れ・派遣, 在籍管理等において適切な手続き等がとられているか。	4	③	2 1	在留申請等取次者としての資格を取得し、在留申請支援は十分に行うことができる。 【教職員アンケート 質問60 2.75】
・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか。	4	③	2 1	オーバーワークがないようにアルバイト時間・場所の管理等を含め適切に対応している。 【教職員アンケート 質問61 3.00】
・学習成果が国内外で評価される取組を取っているか。	4	3	② 1	国際的な取組はまだできていない。 【教職員アンケート 質問62 2.25】 【学生アンケート 質問21 3.15】 平均 2.70

①課題

留学生の日本語能力に個人差があるので、日本語を十分に習得させることが最大の課題である。国による生活習慣や基本的考え方の違いはあるが、日本人学生と同じ授業を受けさせることでお互いを理解できるようにはなりつつある。コロナ禍にあってなかなか地域住民との交流ができていない。

②今後の改善方策

学習意欲向上を目的として日本語の教育の更なる充実を図る。専門用語に関する理解を深めさせることで、日本語で行われる専門分野の授業に対する困難さの軽減を図る。

③特記事項

留学生によるタガログ語教室を、地域の駐在所巡査に定期的に行うことができた。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

令和3年度

令和3年度の総括

(1) 介護福祉士国家試験合格率(日本学生)100%の達成

国家試験対策・模擬試験に計画的に実施し、資格取得に対する意識付けを行った。早い段階から目的意識をもって自発的に学習に取り組んだ学生は模擬試験の結果が着実に向上し、国家試験自己採点結果も良好であった。学生の能力的な差がどうしても結果に反映されることがあるが、2年間というスパンで自己を鍛え上げ、国家試験合格という目標を達成できるように指導者の立場から模擬試験の方法や補講自主学習の方法等の改善工夫が必要である。今年度は日本人8名中4名が合格という厳しい結果であった。

留学生の国家試験合格は困難なものがあるが、専門用語に関する補充授業を重点的に実施し、合格者を輩出できるよう努力した結果、理解度も高くなりつつある。今年度は1名の学生が合格を果たし、もう一息という段階まで来ている学生もいた。次年度留学生の意欲向上に繋げたい。

(2) 進路実現100%の達成

留学生に対しては希望する条件の聞き取りを行ったうえで、応募先の選定・先方との連絡調整を援助することで、円滑に就職活動ができるよう支援した。

また、市内就職を希望する学生を対象に就職合同面談会を開催し、様々な施設について理解した上で進路を実現できる体制を構築した。その結果、学生全員が進路を実現することができた。

(3) 授業の質と量の向上を図る

先輩教員の助言を受けながら授業研究を推進し、不足する部分を補完する体制を構築している。

今年度は授業力の向上をテーマにした研究授業を行うことができなかった。

各教科の情報共有を綿密に行い、効果的な国家試験対策について研究を重ねている。担任・学科長を中心に複数回個人面談を実施し、各学生の要望や課題、学修状況を把握し、適切な働きかけを行うことでそれぞれの苦手とする部分を補完し、授業への理解度・意欲を高めている。

(4) 留学生の安全・安心100%の達成

在留資格の適切な管理を行うとともに、担任・留学生担当職員を中心として各種の相談に対応し、安心して生活できる環境づくりを行っている。日本の税制度・年金制度に関する指導を徹底し、法令順守の意識を高めている。

病院受診や各種手続きの際に職員が同伴して指導し、卒業後も社会生活を円滑に営めるよう支援している。また、健康増進に関する指導を担当を中心に実践した。

(5) 報告・連絡・相談体制の推進

職員朝会・職員会議を中心に教職員間の情報を共有し、意思統一を図ったうえで学校運営に取り組んでいる。また、学生からの相談内容等については担任を中心に細心の注意を払って取り扱い、個人情報の保護に努めている。

(6) ガイダンス・オープンキャンパス・広報の充実

高校での進学ガイダンスに積極的に教職員を派遣し、正確な情報の伝達と広報活動に力を入れている。オープンキャンパスにおいては、入学希望者が本校の学生の意見を直接聞く機会を

1. 学校の教育目標 令和4年度

1 ビジョン

地域の医療・福祉を包括的に支援できる組織になる。

2 ビジョンの実現に向けたテーマ

地域社会から必要とされる組織であり続ける。

地域社会から必要とされる人材を提供する。

3 「地域のために」の精神を大切にす介護人材の育成を図る。

4 重点教育目標

(1) 授業内容の質の向上に努める。

(2) 介護福祉士国家試験合格率の向上および進路実現100%を達成する。

(3) 効率的な学生募集に努める。(日本学生10, 留学生15)

(4) 留学生の安全安心100%に努める。

(5) 凡事徹底に努め、組織として動く。

(6) 社会人としての基本的習慣「時を守る」「場を清める」「礼を正す」ということについては、年間を通してしっかり身に付けさせる。

(7) 授業や普段の生活の中で日本語力を向上させる。

5 具体的な対策

(1) 研究授業の実施および施設実習の充実を図る。

(2) 模擬試験, 補講, 自己学習時間の十分な確保する。

有効な指導法についての研修を行い実践する。

学生の能力に応じた指導の在り方について具体的な方策を構築する。

担任, 学科主任による個別面談を定期的に行う。

必要に応じて地域企業の就職合同面談会を計画実施する。

(3) ガイダンス, オープンキャンパスなど広報内容の充実・対象者を広げた広報活動を展開する。(中学校進路説明会への参加・模擬授業の実施)

(4) 地域の警察署・消防署と連携した防犯教育・災害防止教育を充実させる。徹底した感染症予防対策を行う。

(5) 職員の報告, 連絡, 相談体制の推進する。

(6) 全学生に話をする機会を定期的に設ける。

(7) 日本語を学ぶ多くの機会を設ける。

6 地域社会との関係

(1) 壱岐市内の介護をリードする人材育成を行う、教育事業としての責任を果たす。

(2) 地域の公民館との連携をはかり「地域のために」という意識を高める。

(2) ボランティア活動(他団体との連携)への積極的参加を図る。

2. 令和4年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

(1) 授業内容の質の向上に努める

学生に「わかる授業」が行えるように、研究授業を実施し、自己研鑽に努め
自己の授業力の向上・学生の介護福祉士国家試験合格に繋げる。
学生の能力に応じた指導の在り方について工夫改善を行う。

(2) 介護福祉士国家試験合格率向上および進路実現100%の達成

- ① 入学試験および入学時オリエンテーションにおいて、授業や国家試験への取組
国家試験合格に向けた明確な意識付けを行う。
- ② 充実した授業をもとに、模擬試験10回、補講および放課後の自己学習30回
を確保し、定期的に自分の力を客観視できる学習環境をつくる。
- ③ 国家試験に向けた自己の能力に応じた短期的学習計画・長期的学習計画を立てさせ、
実行させることによって、常に自己の到達度が確認できるように指導を行う。
- ③ 本校独自の就職合同面談会を実施する。(7～9施設の参加を目指す)
- ④ 担任・学科長との進路に関する面談を十分に行う。

(3) 効率的な学生募集に努める(日本学生10、留学生15)

- ① 高校のガイダンスについては積極的に職員を派遣し、広報に努める。
- ② オープンキャンパスにおいて丁寧な説明を行う。
- ③ 市内のケーブルテレビの活用を検討する。
- ④ 中学校の進路説明会への参加
- ⑤ 夏休み期間中に高校生向けに体験授業を開催する。

(4) 留学生の安全安心100%に努める

- ① 担任を中心とした面談を適宜実施するとともに、日常生活、悩み、疾病対応等に
関する相談窓口の周知を図る。
- ② 地元の駐在所や吉崎市警察署、吉崎市消防署との連携を密にし、学生の危機意識
を高める教育活動を展開する。
- ③ 地域の公民館との連携を強化する。

(5) 凡事徹底に努め、組織として動く

- ① 全体、学生に関わること、まずは報告・連絡・相談することを徹底する。
- ② 問題を一人で抱え込まず相談できる組織体制を作る。
- ③ 生活全般に関し、「時を守る」「場を清める」「礼を正す」の3点の習慣をしっかりと身に
付けさせる。

(6) 地域に貢献する

- ① 地域の環境整備等の活動を行う。(地域清掃活動)
- ② 近隣の施設(小学校等)や自治会と連携を密にし地域に貢献できる活動を計画する。
- ③ 留学生と地域住民の交流を深める(語学教室・料理教室等の開催)